

科 目 名	作業療法技術学演習Ⅴ(作業科学)【作業】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	青 山 真 美						
開 講 年 次	4	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選択必修（作業）
授業の概要 及びねらい	地域における生活や人生を健康でより良い状態へと支援する作業療法において、作業科学的な作業の理解は有用である。本講義では、作業科学の発展の経緯を概説し、文献消毒をとおして、作業科学における作業の見方を学ぶ機会を提供する。						
授 業 の 到 達 目 標	1 作業科学の誕生と発展の経過を知る。 2 作業の形態、機能、意味について考える。 3 作業に従事する時の主観的経験について考える。 4 作業と現象との関係について考える。 5 作業的公正、不公正について考える						
学 習 方 法	講義、グループ調査、発表						
テキスト及 び参考書等	論文を選定し配布する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○	○	◎			70	
授業態度							
受講者の発表					○	30	
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	作業科学とは 作業科学の芽生え、発展						
第 2 週	文献抄読①（意味）						
第 3 週	文献抄読②（主観的経験）						
第 4 週	文献抄読③（自己同一性）						
第 5 週	文献抄読④（作業的不公正）						
第 6 週	文献抄読⑤（作業的不公正）						
第 7 週	文献抄読⑥（作業的不公正）						
第 8 週	まとめ						
第 9 週							
第 10 週							
第 11 週							
第 12 週							
第 13 週							
第 14 週							
第 15 週							
第 16 週							
備 考	一通り、文献を読んで授業に参加し、授業後、テーマに対する自分の考えを整理すること。						